

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2010.11.1 NO.56



「九条の会・流山」HP: <http://www.nagareyama9.org/>

メール: info@nagareyama9.org

流山に池田香代子さん

来年五月の講演会



5月14日(土)夜
生涯学習センター

来年の流山憲法集会は5月14日夜に池田香代子さんをお願いすることが決まりました。池田さんはグリム童話の翻訳をは

じめドイツ児童文学者として著名な方です。世界平和アピール七人委員会のひとりで社会運動家としても知られており、文筆活動のかたわら、平和憲法を守る活動など積極的に行っている方です。絵本『世界がもし100人の村だったら』がベストセラーになりましたが、その印税7000万円余をすべて、日本在留の難民を支援するための活動資金や、アフガニスタン難民キャンプに女子中学アル・イルム女学院を設立するための基金、それにパレスチナの水道タンクなど、平和的な活動や、NGO/NPOへ寄付されています。

なお、とりあえず5月14日夜の会場を確保しましたが、できれば昼間にしたいと思っています。

2月の会場申し込みで確保できれば同日午後の別の会場に変更する予定です。(流山の予約システムの仕組みのため止むを得ません)

<ご紹介> **東京9条まつり**

なにを見ようか、
なにを聴こうか、
なにを買って帰ろうか

東京の九条の会連絡会が多彩な「まつり」を計画しました。歌、ピアノ、チェロ、落語、映画、若者の広場、講演……と会館の一階から六階まで同時並行でたくさんの催しが行われます。

日時 2010年11月13日(土)11:00~20:30

場所 大田区産業プラザ(PiO)蒲田駅から12分
大田区南蒲田1-20-20 電話 03-3733-6600

その一部を紹介すると

オープニング

特別スピーチ ジェームス三木(劇作家)

DVD上映「狙われた海」(琉球朝日放送制作)

模擬授業「国民学校初等科・音楽」

報告「辺野古に基地はいらない」

三上智恵(琉球朝日放送キャスター)

ビッグ対談「節目の年に歴史を通して今を見る」

ジェームス三木+小森陽一

講演「漱石と戦争」小森陽一

(九条の会事務局長、東京大学教授・日本文学)

講演「北東アジアと憲法9条」

高橋哲哉(東京大学教授・哲学)

講演「安保条約と平和に生きる権利」

山内敏弘(一橋大学名誉教授・憲法学)

東京九条カレッジ・雨宮処凛が学生と語る

「生きさせる思想」雨宮処凛+小森陽一

「反戦・平和とひばり」ピアノ 佐藤真子

トーク

蓮池透 + 伊勢崎賢治 + まえきたみやこ

「ジャズ・ヒケシ」伊勢崎賢治と仲間たち

特別スピーチ「生きいき憲法」

日野原重明(聖路加国際病院理事長)

詳しくは下記のホームページをどうぞ

<http://www.9jo-tokyo.jp/link2.html>

思いやり予算見直しのはずが

政府 総額維持で対米交渉へ

在日米軍駐留経費の日本側負担(思いやり予算)について、民主党政権は見直しを宣言していたが、菅内閣は総額を維持する方向で米側と交渉する方針に大きく舵を切った。中国との緊張関係が続く中で米軍の後押しを期待して減額を撤回というのはあまりに見え透いていないだろうか。

朝日新聞は次のように伝える。

今後の焦点は増額を求める米側との交渉に移る。

防衛省は2011年度概算要求で、既存予算の1割削減という概算要求基準に対応するため、今年度をやや下回る1859億円をすべて「政策コンテスト」の対象となる特別枠として要望した。

思いやり予算が、優先順位や金額の絞り込みを決める「政策コンテスト」になじまないことは承知の上で、防衛装備品の後年度負担、人件費が多くを占める防衛予算の削りにくさをアピールする狙いが防衛省にはあった。

ビデオ

「玉砕 隠された真実」を見て

10月19日(火)北部公民館 8月のNHKビデオを見て話し合いました。

戦争にもルールがある。敗北が決まれば降参し、武器を引き渡して、もう抵抗しない。勝った側は捕虜とした敵軍の兵隊には危害を加えず、生命を保障する。それはすでに国際社会で相互に了解済みのことだった。日本もこのジュネーブ条約に日清戦争後調印していたが、批准をしなかった。

そしてこの国際常識を日本政府は国民にも軍人にも隠し、他国への敵愾心をあおり、陸軍大臣東條英機は戦陣訓を示達した。悪名高い「生きて虜囚の辱めを受けず」の一句は敵命として軍人の中に深く浸透した。1943年アッツ島での全滅を最初に「玉砕」と発表してのち、各地で同様の悲劇が続発。この事態は「全く勝つ見込みのない、死ぬための戦争」を絶望的に戦わされて死んでいった兵隊の悲劇だけに終わらない。玉砕で奇跡的に生き延びた人たちの口をも塞いだ。90歳を超えて、いまなお心の底に鉛を抱いて生きている人たちの証言が重かった。

生き残ることができたことを幸せとして喜ぶことは許されないことで、戦友とともに死ねなかった罪悪感を背負って生涯を生きてきたのだ。そして軍人のみならず一般人にさえも自決を迫るといふ、外国人には到底理解できないであろう非人道的なことが国ぐるみで行われることになっていったのだ。

「玉砕」という言い方はただ「お国のため」に死ぬことを美化しただけでなく、実は食料も武器弾薬も援護できなくなって部隊丸ごと遺棄してしまった参謀の無謀な戦争指導への免罪、責任回避の意味をも持っていたと指摘していたのは改めて考えさせられた。

日本の武器輸出

解禁を迫る日本の業界とアメリカ。

日本ではどんな会社が.....

防衛庁の装備品契約高 Top10 (2000~4年度合計)

- | | | |
|---------------|----------|----------------------------|
| 1位: 三菱重工業 | 1兆4833億円 | (戦車、戦闘機、潜水艦、地对空誘導弾など) |
| 2位: 川崎重工業 | 6319億円 | (輸送ヘリコプター、対戦車誘導弾中等練習機など) |
| 3位: 三菱電機 | 4934億円 | (地对空誘導弾改善用装備品、中距離地对空誘導弾など) |
| 4位: 日本電気 | 2996億円 | (音響信号処理装置、師団通信システム、ソーナーなど) |
| 5位: 石川島播磨重工業 | 2467億円 | (練習機エンジン、戦闘機エンジンなど) |
| 6位: 東芝 | 2184億円 | |
| 7位: 小松製作所 | 1806億円 | |
| 8位: 富士重工業 | 1073億円 | |
| 9位: IHI 伊賀ハルス | 1019億円 | |
| 10位: 富士通 | 957億円 | |



定例駅頭宣伝

11月は9日(火) 15:30~16:30
流山おおたかの森駅

会員拡大にご協力を!

世話人会では会員の拡大を目指しています。駅頭宣伝のチラシでも訴えています。ご紹介下さい。

[カンパはこちらの郵便振替口座へ](#)

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山